

**製品名: MAP2K6 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM85075**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 37 kDa; Observed MW: 40 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAP2K6
別名	MAP2K6; MEK6; MKK6; PRKMK6; SKK3; Dual specificity mitogen-activated protein kinase kinase 6; MAP kinase kinase 6; MAPKK 6; MAPK/ERK kinase 6; MEK 6; Stress-activated protein kinase kinase 3; SAPK kinase 3; SAPKK-3; SAPKK3
遺伝子 ID	5608.0
SwissProt ID	P52564
免疫原	大腸菌で発現した精製された組み換えヒト MKK6 タンパク質断片。

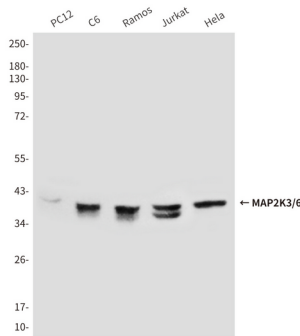
## 背景

この遺伝子は、二重特異性タンパク質キナーゼファミリーのメンバーをコードし、マイトジェン活性化タンパク質 (MAP) キナーゼキナーゼとして機能します。MAP キナーゼは細胞外シグナル調節キナーゼ (ERK) としても知られ、複数の生化学的シグナルの統合点として機能します。このタンパク質は、炎症性サイトカインまたは環境ストレスに反応して p38 MAP キナーゼをリン酸化して活性化します。p38 MAP キナーゼを介したシグナル伝達経路の必須構成要素として、この遺伝子はストレス誘発性の細胞周期停止、転写活性化、アポトーシスなど、多くの細胞プロセスに関与しています。組織特異性: アイソフォーム 2 は骨格筋でのみ発現します。一方、アイソフォーム 1 は骨格筋、心臓、そして少量ですが肝臓や膵臓にも存在します。

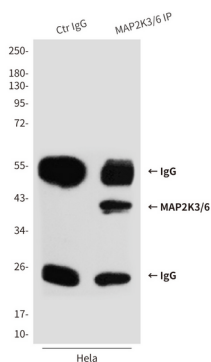
## 研究分野

アポトーシス、TGF- $\beta$ シグナル伝達経路、MAPKシグナル伝達経路、Jak-STATシグナル伝達経路

## 画像データ



MKK3/6 抗体を使用した PC-12、C6、Ramos、Jurkat、および HeLa 溶解物中の MAP2K6 のウエスタン ブロット分析。



MKK3/6 抗体を使用した HeLa 溶解物中の MAP2K6 の免疫沈降分析。